

1. 基本事項

施設名称	川崎市石川記念武道館	評価対象年度	平成27年度
事業者名	株式会社 明治スポーツプラザ	評価者	地域振興課長
指定期間	平成23年4月1日～平成28年3月31日	所管課	幸区役所地域振興課

2. 事業実績

利用実績 (単位:人)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	4,451	3,964	4,311	3,722	3,621	4,277	4,902	3,948	4,038	3,837	4,042	4,213	49,326
収支実績 (単位:千円)	収入	指定管理委託費	16,387										
		利用料金収入	4,375										
		事業収入他	2,284										
	収入計		23,046										
	支出	管理運営費	20,586										
		支出計	20,586										
収支差額	2,460												
サービス向上の取組	<p>・幸スポーツセンターと同一地区の施設で、統一的な管理運営が必要となるために両館併せての指定管理となる。柔道・剣道・空手・少林寺・なぎなた・合気道の6武道を中心に武道館連指導員絡協議会と調整を図りながら、初心者武道教室も実施や武道練習日の調整を行い、利用者を増やしなが、安定的な運営を行っている。午前中の武道の利用者が少ない時間帯には、畳という利点を利用して、女性をターゲットにヨガ・ピラティスや、幼児向け親子教室を実施し施設の有効利用を図ると共に、護身術の無料セミナーを開催するなど、日ごろ武道館になじみのない層にアピールし、利用者を増加している。</p> <p>・10枚分の料金(1,000円)で12枚セットの幸スポーツセンターとの共通回数券を発行し、幸スポーツセンターのトレーニングルーム等も利用できるようサービスの向上に継続して取組んでいる。</p> <p>・利用者の意見や要望を把握するために「ご意見箱」を設置するとともに、第三者機関に委託し、顧客満足度調査を実施するなど、利用者ニーズの把握と改善に努めている。</p> <p>・夏と冬に暑中稽古、寒稽古を行い、1月の寒稽古の際には鏡開きを行い、お汁粉を振舞うなど、伝統的な行事を行い利用者サービスにつなげている。</p>												

3. 評価

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
総合的な運営状況	基本方針	公の施設としての理念を尊重し、社会体育施設としての役割や目的を果しているか。	5	4(0.8)	4
	事業成果	事業実施による成果の測定・検証が適切に行われているか。	5	4(0.8)	4
	(評価の理由)	<p>・事業計画に基づき、適切な施設の運営を行っている。</p> <p>・各種武道団体と連携を図り、円滑な管理運営を行うとともに、利用率の低い時間帯を活用し、武道場で開催できる武道以外のヨガ・ピラティスや幼児向け親子教室等、種目を工夫・実施することで、武道館になじみのなかった層を取り込み、武道館の認知度向上と施設の有効活用を図っている。</p> <p>・「顧客満足度調査」を実施し利用者の声を分析・評価し施設の管理運営に活かしている。</p>			
管理業務の実施状況	維持管理等の再委託	施設利用提供に支障をきたすこと無きよう、施設・設備の保守点検や整備等を適切に行っているか。	5	3(0.6)	3
	休館日・開館時間	安全で適正な管理運営を確立するとともに、利便性や利用サービスの向上に留意した施設提供を行っているか。	5	4(0.8)	4
	利用料金	公平性・平等性及び受益者負担について留意し利用料金の設定を行うとともに、利用者の利便性や利用サービスの向上を図っているか。	5	3(0.6)	3
	諸施設の活用と提供サービス	効果的な諸施設の活用及び提供サービスの向上を図っているか。	5	3(0.6)	3
	個人情報保護や情報公開	個人情報の保護や情報の公開を適切に行っているか。	5	3(0.6)	3
	利用促進	施設の利用促進に向けた取り組みが成されているか。	5	4(0.8)	4
	人員配置	スタッフが業務を適正に実施するための、適切な労働条件や労働環境が整備され、円滑な施設運営に必要な人員配置(資質・ローテーション等)を行っているか。	5	3(0.8)	3
	人材育成	各種研修等を行うなど、人員の資質の向上を図っているか。	5	4(0.8)	4
危機管理	利用者の安全の確保及び有事の際の適切・迅速な対応のための危機管理体制がとられているか。	5	4(0.8)	4	
(評価の理由)	<p>・入館時間の繰上げや夜間退出時間の延長を行い、利用者の利便性を考慮した取組みを行っている。</p> <p>・指定管理者は、プライバシーマークの認定を受けており、教室申し込みなどにより収集した個人情報については適正に管理されている。</p> <p>・「寒稽古」や「武道演武会」等のイベント開催のほか、「護身術」の無料セミナー、武道以外のヨガ・ピラティスや幼児向け親子教室等、施設の特性を有効利用して、利用者の増加に繋げている。</p> <p>・全ての職員を対象に、避難誘導訓練及び救命救急訓練を定期的実施し、毎勤務ごとにAEDの取り扱い手順等の確認を行っている。またマナー研修、トレーナー研修、フロント研修等を実施し職員の資質の向上を図っている。</p>				

事業実施状況	施設利用提供業務	生涯スポーツ振興を図るための施設利用提供を行っているか。	5	3(0.6)	3
	個人開放事業	生涯スポーツ振興を図るための個人開放事業を実施しているか。	5	4(0.8)	4
	教室等事業	生涯スポーツ振興を図るためのスポーツ教室やイベント等事業を実施しているか。	5	4(0.8)	4
	スポーツ情報提供及び相談業務	生涯スポーツ振興を図るための情報の提供及び相談業務等を行なっているか。	5	4(0.8)	4
	指導者・ボランティアの育成	地域スポーツ指導者の育成やボランティア等の育成のための事業を実施しているか。	5	3(0.6)	3
	自主事業に関する事項	利便性やサービスの向上のための自主事業等を実施しているか。	5	4(0.8)	4
	総合型地域スポーツクラブの支援	総合型地域スポーツクラブの活動支援を行っているか。	5	3(0.6)	3
(評価の理由)					
<ul style="list-style-type: none"> ・事業計画に基づいた事業の実施がなされている。 ・個人利用の日には武道指導者連絡協議会と調整し各武道別の講師を用意し、安価な料金で熟練の指導が受けられる体制をとっている。 ・自主事業として暑中稽古、寒稽古、鏡開き、武道演武会等のほか、合気道による護身術の無料セミナーを開催するなど、武道による地域貢献に寄与している。 					
収支状況	安定性	収支計画に基づく安定した運営を行っているか	5	3(0.6)	3
	効率性	サービスの維持・向上に留意した上で効果的・効率的な予算執行が図られているか。	5	3(0.6)	3
	(評価の理由)				
<ul style="list-style-type: none"> ・安定的に適正な運営が行われている。 ・安全性を確保した上で、利用者にも協力を呼びかけながら一部消灯するなど、節電の取組を実施し、経費節減にもつなげている。 					

4. 総合評価

評価点合計	70	評価ランク	B
-------	----	-------	---

5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

- ・第2期5年目となる27年度は、これまでの運営を発展させながら安定した管理運営がなされている。また、公の施設としての理念を十分認識し、地域における武道活動の拠点として、区民の健康増進や地域武道の推進に寄与するよう努めている。
- ・公平、公正な管理運営に努め、公の施設としての理念を尊重し、社会体育施設としての役割を果たしている。
- ・より幅広い世代の利用を促進するために、ヨガ・ピラティスや幼児向け親子教室など武道以外のプログラムを実施することで武道館に無縁であった市民を取込み、武道館の認知度向上を図るための工夫をしているほか、合気道による護身術の無料セミナーを開催するなど、地域貢献も積極的に果たしている。
- ・あいさつ、声かけを積極的に行うことで、利用者との距離を縮めるよう心がけるとともに、利用者の意見や要望を聞きながら、可能なものは改善し、また、対応が困難なものについては説明責任を果たすなど、利用者の視点にたった運営を行っている。
- ・継続して、利用促進の様々な取組を行い、前年度より2,588人増加した。

6. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

- ・施設の老朽化に対応しながら、施設利用に支障をきたさないよう引き続き適切な維持管理を行うこと。
- ・公共性と効率性に配慮しながら、武道以外の取組も含め、積極的に事業の企画立案をし、利用者の少ない時間帯の有効活用を図ること。
- ・今後も武道の普及、振興に努めるとともに、より多くの市民に施設を利用してもらえるよう積極的に事業を企画立案し、取組を進めていくこと。
- ・利用者の視点にたったホームページの改善、広報媒体を使った情報発信等、施設の広報・PRに努め、一層の施設利用の促進を図ること。
- ・引き続き武道指導員連絡協議会等を通して、各武道間の調整を行い、各武道の拡大や施設の認知度の向上に向けた取組を行うこと